

## 1 研究課題

### (1) 研究課題

「ものづくりを通して、伝統工芸の優れた技や心にふれ、ふるさとの財産である伝統文化への理解を深め、郷土を愛する心をはぐくむ」

### (2) 研究課題設定の理由

本県には、加賀友禅、九谷焼、輪島塗などの優れた伝統工芸が文化として、さらに、産業として根付いている。また、加賀宝生、加賀とびなど、児童生徒が日常的に伝統文化に触れる機会も他県に比べ多いといえる。

本事業を通して、石川の文化や風土を生かした体験学習を推進し、伝統工芸の技や工芸品に触れ、ものづくりを通して伝統文化への理解を深めさせたい。また、それを尊重する豊かな心をはぐくみたいと本主題を設定した。

また、本県では、教育ビジョンとして「ふるさとに誇りをもち、広い視野にたって社会に貢献する人間」という目指す人間像を掲げており、本事業により児童・生徒が、伝統文化への理解を深め郷土を愛する心をはぐくませたいと考え、本主題を設定した。

## 2 モデル校名

金沢市立味噌蔵町小学校  
石川県立羽咋工業高等学校  
石川県立工業高等学校  
金沢市立工業高等学校

## 3 研究内容及び具体的な研究活動

県の取組として、4校の実践をまとめた報告書の作成と、Webページにより、実践の公開を行う。

モデル校の取組について、金沢市立味噌蔵町小学校においては、金沢の伝統や文化を調べたり、体験することにより、伝統や文化に関心を高め、大切にしようという心情を育てている。

石川県立羽咋工業高等学校では、我が国の壁塗り技術を体験し、左官職人の優れた技と心にふれた。

石川県立工業高等学校では、石川県の伝統産業である繊維製品を活用して、地域等との交流を図った。一般の方を対象に4回の「染色体験講座」を、モデル校である金沢市立味噌蔵町小学校を訪問し、「組紐交流」を行った。

その際、「このような講座にまた参加したい」と一般の人が、「今度は、糸を多くしてやりたい」と小学生からの感想があった。

金沢市立工業高等学校では、大工の棟梁から、技を学び、優れた技と心にふれた。

## 4 研究成果の普及

開放講座等については、募集広報を行い、各モデル校の取組については、それぞれが新聞等に情報提供し、広くいろいろな人に取組を知ってもらうことができた。

県の取組としては、Webページにより、実践の公開を行い、普及・啓発を行う。

## 5 今後我が国の伝統文化を尊重する教育をより推進するための課題と改善策

事業を行うことで、実際にそれぞれのモデル校では、大きな成果があがっていると考えられる。しかし、その検証について実際に調査を行ってはいない。また、外部の方についても、事業に対する課題等の評価をとっていない。

今後は、児童・生徒はもちろんのこと、地域人材、関係者についてもアンケートや評価をいただくような取組を行いたい。